



2025 年 5 月 21 日

報道関係者各位

慶應義塾大学医学部

長引く「コロナ後遺症（long COVID）」と慢性痛の類似点を発見 -Long COVID 症状は新型コロナウイルス感染に特有の症状ではない-

新型コロナウイルス感染症後に一部の患者で睡眠障害や倦怠感、体の痛み、めまい、集中力の低下、記憶障害、息切れなどのいわゆる「コロナ後遺症（long COVID）」症状が、今までなかったにもかかわらず、感染後から長期間続くことが知られています。

慶應義塾大学医学部麻酔学教室の若泉謙太専任講師らの研究グループは、東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学専攻公衆衛生学分野の田淵貴大准教授との共同研究で、大規模疫学調査のデータから、long COVID 症状が必ずしも新型コロナウイルス感染症に特有の症状ではないことを明らかにしました。

新型コロナウイルス感染後に一部の患者で様々な身体症状が続くことが知られており、「コロナ後遺症（long COVID）」とも呼ばれています。その実態は不明な点が多いのが現状です。一方で long COVID に類似した症状（long COVID 様症状）は、新型コロナ感染歴がなく、3 か月以上にわたって痛みが続く慢性痛患者にも見られることが分かっています。しかし、これまでに慢性痛患者において、どのような long COVID 様症状がどの程度見られるのかを網羅的に検討した研究は存在しませんでした。そこで本研究では、慢性痛患者における long COVID 様症状の有無や傾向を明らかにすることを目的として、調査を行いました。その結果、慢性痛がある人は、ない人と比べて中枢神経症状（記憶障害、集中力の低下など）や呼吸器症状（咳、息切れなど）、消化器症状（胃腸の不調）を含む様々な long COVID 様症状を多く持つことが明らかとなりました。さらに注目すべき点として、慢性痛を抱える人は、コロナ感染歴のある人と比べても、これらの症状を多く持つことも明らかとなりました。つまり、慢性痛を有する人は、新型コロナウイルスに感染していない場合でも、慢性痛のない人に比べて多くの long COVID 様症状を抱えており、その症状の数は実際の long COVID 患者を上回ることが示されました。慢性痛患者では、中枢神経系の機能異常が痛みの長期化だけでなく、多彩な身体症状を引き起こすことが報告されています。新型コロナウイルス感染においても、一部の人で同様の中枢神経系の機能異常が誘発される結果、いわゆる「コロナ後遺症（long COVID）」と呼ばれる症状を引き起こしている可能性が今回の調査結果から伺われました。現在もなお、新型コロナウイルス感染後の後遺症に苦しむ患者は少なくありません。本研究の成果により、後遺症の病態解明が進み、治療法の開発や改善につながることが期待されます。この研究成果は 2025 年 5 月 6 日に疼痛医学の国際学会誌である *PAIN* オンライン版に掲載されました。

1. 研究の背景と概要

新型コロナウイルス感染症後に一部の患者で睡眠障害や倦怠感、体の痛み、めまい、集中力の低下、記憶障害、息切れなどのいわゆる「コロナ後遺症 (long COVID)」症状が長期間続くことが知られています。その実態は未だ十分に解明されておらず、現在もなお症状に苦しみ、日常生活に支障をきたしている患者が少なからず存在します。一方で、long COVID に類似した症状(long COVID 様症状)は、新型コロナウイルス感染歴がなく、3 か月以上続く慢性的な痛み (いわゆる慢性痛)を抱える人にも見られることが知られています。しかし、これまでに慢性痛患者において、どのような long COVID 様症状がどの程度見られるのかを網羅的に検討した研究は存在しませんでした。そこで本研究では、慢性痛患者における long COVID 様症状の有無や傾向を明らかにすることを目的として、調査を行いました。

調査にあたり、国内の大規模インターネット調査「日本における新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 問題および社会全般に関する健康格差評価研究」(The Japan COVID-19 and Society Internet Survey; JACSIS) のデータを利用しました。2022 年に実施した調査で解答のあった 28,611 人を対象に、新型コロナウイルス感染歴と慢性痛の有無によって、次の 4 つのグループに分けました:「コロナなし/慢性痛なし」、「コロナあり/慢性痛なし」、「コロナなし/慢性痛あり」、「コロナあり/慢性痛あり」。また、コロナ後遺症 (long COVID) に関連する代表的な 17 の症状(胃腸の不調、腰背部痛、四肢/関節痛、頭痛、胸部痛、息切れ、めまい、睡眠障害、聴覚障害、味覚障害、嗅覚障害、記憶障害、集中力低下、脱毛、性欲減退、倦怠感、咳)について、それぞれの有無を調査しました。その結果、long COVID 様症状の数は、「コロナなし/慢性痛なし」、「コロナあり/慢性痛なし」、「コロナなし/慢性痛あり」、「コロナあり/慢性痛あり」の順に有

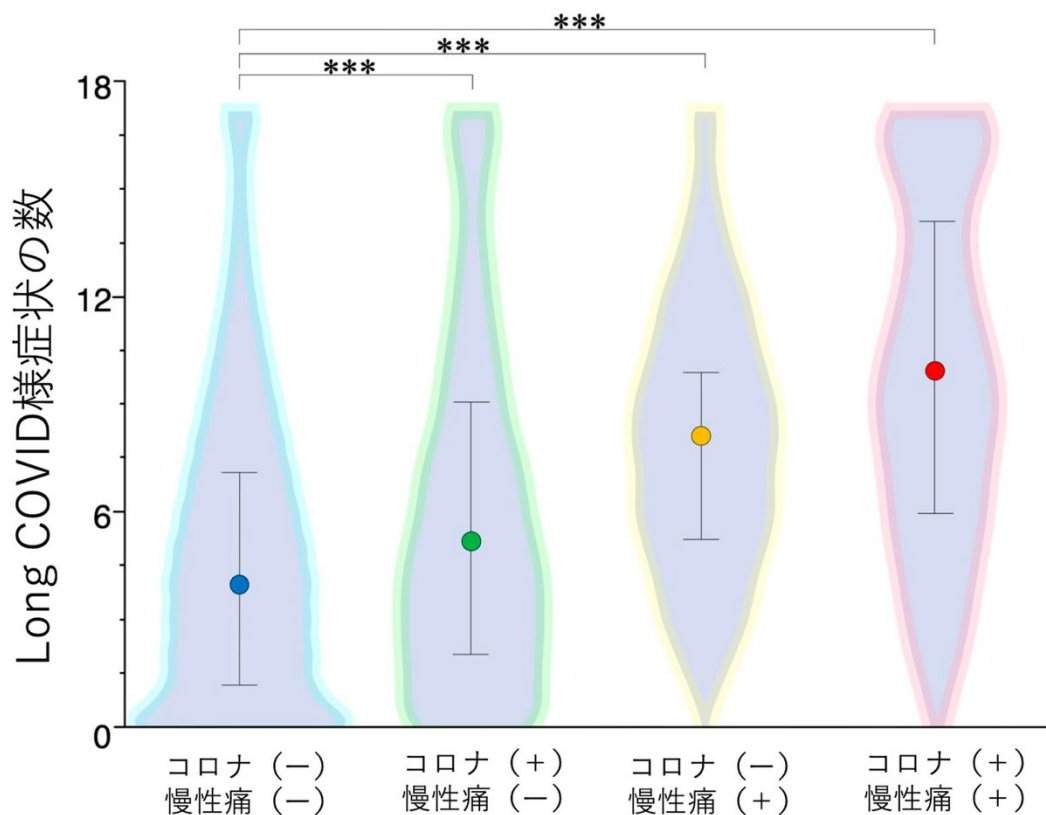


図 1. 各グループのコロナ後遺症様症状 (long COVID 様症状) の数

コロナ (+/-) : 新型コロナウイルス感染歴の有無

慢性痛 (+/-) : 3 か月以上続く痛みの有無

意に増加する傾向が見られました（各グループの有症数の中央値：4, 5, 8, 9）（図 1 参照）。特に注目すべき点としては、新型コロナウイルスに感染したことがない方でも、慢性痛がある場合には、long COVID 様症状を多く抱えている傾向が明らかとなったことです。

さらに多変量ロジスティック回帰分析により、年齢や性別などの背景因子に加え、精神疾患や生活習慣病など 19 種類の併存疾患、コロナウイルスのワクチン接種歴などを踏まえて統計学的に解析したところ、慢性痛を有する方は健康な方と比べて、中枢神経症状や呼吸器症状、消化器症状など計 15 の症状について、発症のリスクが有意に高いことが分かりました。

慢性痛を持つ方では、中枢神経系の機能異常が、痛みを含むさまざまな身体症状の背景にあると考えられています。同様に、コロナ後遺症においても、新型コロナウイルス感染によって引き起こされる全身性の炎症が中枢神経系に影響を与え、結果として多様な症状に繋がっている可能性が示唆されます。実際に、記憶力低下のコロナ後遺症を有する患者では、記憶力低下のないコロナ既感染者と比較して、脳の構造的な違いや機能的な違いがあることが示唆されています。

2. 研究の成果と意義・今後の展開

本研究の成果は、新型コロナウイルス感染後に一部の方で見られる後遺症の症状が、必ずしもコロナウイルス感染そのもののだけが原因とは限らない可能性を示唆しています。難治性の慢性痛がそうであるように、多様な症状を包括的に捉えておかないと、治療の方向性を見失ってしまう場合があります。したがって、本研究はコロナ後遺症に対する理解を深める上で重要な視点を提供するものであり、社会的にも大きな意義を持つ研究成果であると言えます。

現在もなお、新型コロナウイルス感染後の後遺症に苦しむ方は少なくありません。本研究の知見が、後遺症の背景にある病態の解明を進め、今後の治療法の開発や既存の治療の改善につながっていくことが期待されます。

3. 特記事項

本研究は JSPS 科研費 JP21H04856, JP20K10467, JP20K19633, JP20K1372, JP24K00498, JP24K02541、科学技術振興機構（JPMJPF2017）、厚生労働科学研究費補助金（21HA2016）、横浜市立大学 2021-2022 年度戦略的研究推進事業（SK202116）、及び東京財団政策研究所「ヘルス・メトリクスを用いた政策インパクトのモニタリングと評価」に関する研究プログラムの支援によって行われました。

4. 論文

英文タイトル：Exploring the presence of long COVID-like symptoms in patients with chronic pain: a large-scale internet-based cross-sectional study in Japan

タイトル和訳：慢性痛患者における long COVID 様症状の探索～大規模インターネット横断調査 JACSIS より～

著者名：高岡早紀、齋藤葉菜子、河手森彦、田中智里、ウーイーファン、小杉志都子、山田高成、田淵貴大、若泉謙太

掲載誌：PAIN

DOI：10.1097/j.pain.0000000000003643.

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、科学記者会、厚生労働記者会、厚生日比谷クラブ、各社科学部等に送信しております。

【本発表資料のお問い合わせ先】

慶應義塾大学医学部 麻酔学教室

専任講師 若泉 謙太 （わかいずみ けんた）

TEL : 03-5363-3810 FAX : 03-5363-3810 E-mail : kwaka@keio.jp

<http://keio-anesthesiology.jp>

【本リリースの配信元】

慶應義塾大学信濃町キャンパス総務課：飯塚・岸

〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35

TEL : 03-5363-3611 FAX : 03-5363-3612 E-mail : med-koho@adst.keio.ac.jp

<https://www.med.keio.ac.jp>